

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 6 日 (2020.8.6)

【公開番号】特開 2018-146946 (P2018-146946A)

【公開日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)

【年通号数】公開・登録公報 2018-036

【出願番号】特願 2017-193140 (P2017-193140)

【国際特許分類】

G 0 9 B 29/00 (2006.01)

G 0 5 D 1/00 (2006.01)

G 0 1 C 21/26 (2006.01)

G 0 8 G 5/00 (2006.01)

B 6 4 F 1/36 (2017.01)

B 6 4 C 13/18 (2006.01)

【F I】

G 0 9 B 29/00 Z

G 0 5 D 1/00 B

G 0 1 C 21/26 A

G 0 8 G 5/00 A

B 6 4 F 1/36

B 6 4 C 13/18 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 24 日 (2020.6.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

飛行体の飛行を制御する制御システムであって、

線状につながる地物に沿った飛行路をあらわす情報であって、前記地物同士のつながりをあらわす接続情報を含む飛行路情報に基づいて、前記飛行体を前記地物に沿って飛行させる制御を実行する制御部を有する制御システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の制御システムであって、

前記地物は、電線、鉄道、道路、河川、海岸線又は国境線のいずれか少なくとも一つである、
制御システム。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 のいずれか 1 項に記載の制御システムであって、

前記飛行路情報と、前記飛行体が前記飛行路の所定の位置から退避可能な地上の退避領域の位置に関する情報を含む退避情報とに基づいて、前記飛行体が前記退避領域に移動するように制御する制御部を有し、

前記退避情報は、前記退避領域と前記飛行路の所定の位置との対応がわかるように前記飛行路情報と関連付けられている制御システム。

【請求項 4】

3 次元空間内において飛行体が飛行する飛行路をあらわす飛行路情報と、前記飛行体が

前記飛行路の所定の位置から退避可能な地上の退避領域の位置に関する情報を含む退避情報とに基づいて、前記飛行体が前記退避領域に移動するように制御する制御部を有し、

前記退避情報は、前記退避領域と前記飛行路の所定の位置との対応がわかるように前記飛行路情報と関連付けられている制御システム。

【請求項 5】

3次元空間内において飛行体が飛行する飛行路をあらわす飛行路情報と、

前記飛行体が前記飛行路の所定の位置から着陸可能な地上の退避領域の位置に関する情報を含む退避情報と、を有し、

前記退避情報は、前記退避領域と前記飛行路の所定の位置との対応がわかるように前記飛行路情報と関連付けられている地図データのデータ構造。

【請求項 6】

制御部の処理に用いられ、記録部に記録された地図データのデータ構造であって、

前記地図データは、線状につながる地物に沿って飛行体が飛行する飛行路をあらわす情報であって、前記地物のつながりをあらわす接続情報を含む飛行路情報を有し、

前記飛行路情報は、前記制御部が、前記飛行体を前記所定の地物に沿って飛行させるために用いられる地図データのデータ構造。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の一実施態様として、飛行体の飛行を制御する制御システムであって、線状につながる地物に沿った飛行路をあらわす情報であって、前記地物同士のつながりをあらわす接続情報を含む飛行路情報に基づいて、前記飛行体を前記地物に沿って飛行させる制御を実行する制御部を有する制御システムを提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、他の態様として、3次元空間内において飛行体が飛行する飛行路をあらわす飛行路情報と、前記飛行体が前記飛行路の所定の位置から退避可能な地上の退避領域の位置に関する情報を含む退避情報とに基づいて、前記飛行体が前記退避領域に移動するように制御する制御部を有し、前記退避情報は、前記退避領域と前記飛行路の所定の位置との対応がわかるように前記飛行路情報と関連付けられている制御システムを提供する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、他の態様として、3次元空間内において飛行体が飛行する飛行路をあらわす飛行路情報と、前記飛行体が前記飛行路の所定の位置から着陸可能な地上の退避領域の位置に関する情報を含む退避情報と、を有し、前記退避情報は、前記退避領域と前記飛行路の所定の位置との対応がわかるように前記飛行路情報と関連付けられている地図データのデータ構造を提供する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

また、他の態様として、制御部の処理に用いられ、記録部に記録された地図データのデータ構造であって、前記地図データは、線状につながる地物に沿って飛行体が飛行する飛行路をあらわす情報であって、前記地物のつながりをあらわす接続情報を含む飛行路情報を有し、前記飛行路情報は、前記制御部が、前記飛行体を前記所定の地物に沿って飛行させるために用いられる地図データのデータ構造を提供する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 削除

【補正の内容】